



2010年度までの環境行動計画とその成果

リコーグループ16次環境行動計画（2008年度～2010年度） ※ 達成目標年度の記載がないものは2010年度が目標。

1

資源循環型社会に向けた資源の有効利用

- 1) 省資源を目指した環境技術開発 23ページ
 - ・事業および社会全般の新規資源投入量削減に貢献する省資源技術開発を行う
- 2) 製品への新規投入資源の削減に向けた資源循環の拡大と資源の有効利用 29ページ
 - ① 部品リユースの促進
 - ・使用済み製品からのリユース部品使用量を2010年度までに1,910トンに向上（日本）
 - ・使用済み製品からのリユース部品使用量を2010年度までに6,000トンに向上（海外）
 - ② PCMR（プラスチック・クローズド・マテリアル・リサイクル）の促進（日本）
 - ・再生プラスチック使用量の2010年度目標の達成。2010年度目標：750トン
 - ③ 使用済み製品の資源循環量の拡大（海外）
 - ・使用済み製品の資源循環量（再使用量＋再資源化量）を2010年度までに16,000トンに向上
 - ④ バイオマス樹脂の製品への活用
 - ・バイオマストナーの製品化
- 3) 生産活動にともない発生する排出物の削減 43ページ
 - ① サーマルメディア事業における資源ロスの削減
 - ・排出物発生量を2006年度比10%削減
 - ② 包装材に関する資源ロスの削減
 - ・国内画像製品の生産包装材の生産量当たりの排出物発生量を2006年度比30%削減
 - ・海外画像製品の生産包装材の生産量当たりの排出物発生量を2007年度比30%削減
 - ③ 重合トナー製造にともなう排出物発生量の削減
 - ・生産量当たり排出物発生量を2007年度比17%削減

2

気候変動問題に対する先行的な環境技術開発と、エネルギー使用を抑えた事業活動の促進

- 1) 省エネルギーを目指した環境技術開発 26ページ
 - ・事業および社会全般のCO₂削減に貢献する製品や生産プロセスの省エネ技術開発を行う
- 2) 製品の省エネ性能の向上 26ページ
 - ① リコー省エネ目標の達成
- 3) 生産活動にともない排出する温室効果ガスの削減 39ページ
 - ・2010年度までにCO₂排出量を1990年度比12%削減（リコーおよび国内生産会社）
 - ・2010年度までにCO₂排出量を1998年度比10%削減（海外生産会社）
 - ・2010年度までに半導体事業分野のCO₂以外の温室効果ガスを1995年度比10%削減
- 4) 非生産活動にともない発生する温室効果ガスの抑制 49ページ
 - ・CO₂排出量を2006年度実績以下に抑制（リコーおよび国内非生産会社）
- 5) 物流にともない発生するCO₂排出量の削減 54ページ
 - ・物量原単位で前年比1%以上改善
- 6) 仕入先企業へのCO₂排出量削減活動の展開 37ページ
- 7) お客様先での環境負荷削減への貢献 51ページ
 - ① 省エネ・両面機能の活用状況の把握と利用率の向上

3

環境安全性の高い製品づくり・事業活動に向けた化学物質管理の強化

- 1) 製品環境性能の向上 33ページ
 - ① 化学エミッション低減対策の推進
 - ・オゾン・粉じん・VOC類のリコー自主基準の遵守
- 2) 化学物質に関するリスクマネジメントの強化 45ページ
 - ① グローバルでの化学物質リスクマネジメント体制の構築
 - ② 環境影響化学物質の削減
 - ・環境影響化学物質の使用量を2000年度比マイナス30%以下に抑制（リコー生産事業所および生産会社）
 - ・環境影響化学物質の排出量を2000年度比マイナス80%以下に抑制（リコー生産事業所および生産会社）
 - ③ 環境負債の推定と財務会計への反映
 - ・連結決算対象会社の所有地において、PCBs・アスベストの環境負債が推定できている
 - ・リコーグループとして、環境負債が財務会計に反映されている
- 3) 製品含有化学物質管理のレベルアップ 33ページ
 - ① REACH規則への対応
 - ・REACH規則への対応に必要な管理、情報伝達の仕組みの強化

4

生物多様性の保全

- 1) 地球環境の再生能力を高めるための生態系保全活動の推進 72ページ

最終結果

▶ さらなる製品の小型軽量化・長寿命化を実現する技術開発を進めるとともに、100%のリユース・リサイクルを目指した再生部品・再生資源の活用技術、バイオマス材料等の再生可能資源の技術開発を進めています。

▶ リユース部品使用質量の実績は、1,876トンとなりました(未達成)。

▶ リユース部品使用質量の実績は、7,672トンとなりました(達成)。

▶ 再生プラスチックの使用質量の実績は1,192トンとなりました(達成)。

▶ 資源循環量の実績は、28,161トンとなりました(達成)。

▶ 2009年11月にバイオマストナーを採用したデジタル複合機 imagio MP 6001GPを発売しました(達成)。

▶ 生産増加の影響等により、8.6%増加となりました(未達成)。

▶ 御殿場事業所：31.3%削減(達成)。東北リコー：18.4%削減(未達成)。リコーエレメックス：2.1%削減(未達成)。

▶ REI：23.1%削減(未達成)。RIF：14.1%削減(未達成)。RPL：20.3%増加(未達成)。

▶ 生産量あたり排出物発生量は19.5%削減となりました(達成)。

▶ さらなる「製品のつかいやすさ」と「省電力化」を両立する製品省エネ技術及びエネルギーの利用効率を最大化する生産プロセス技術などを開発しています。

▶ 複写機、複合機、プリンターともに省エネ目標を達成した製品を発売しています(達成)。

▶ 基準年(1990年度)時に存在した事業分は14.1%削減となり、目標レベルに達しましたが、それ以後に加わった事業を加えた合計では9.6%削減となり目標未達でした。このため、不足する4,279トン分のCER(認証排出削減量)を国の口座に移転しました(達成)。

▶ 20.3%の増加となりました(未達成)。サームメディア事業の著しい成長や中国拠点への生産シフトの影響によるものです。

▶ CO₂以外の温室効果ガス排出量を45.3%削減しました(達成)。PFC等ガスの除害装置導入に加え、使用量そのものを削減する活動の展開によるものです。

▶ 国内非生産会社総排出量は10.3%削減となりました(達成)。

▶ 輸送トンキロあたりのCO₂排出量3年間平均原単位変化率は1.9%削減となりました(達成)。

▶ 2009年度より継続しているモデル仕入先企業とのCO₂削減活動およびモデル以外の仕入先企業でも実施されているCO₂削減の事例収集を実施しました。

▶ お客様先での省エネモード活用率向上を目指し、提案活動を行いました。2011年も引き続き国内、海外でお客様先での環境負荷削減提案活動の一環として省エネモード活用推進を実施する予定です。

▶ 2007年1月施行のブルーエンジェル基準にも準拠できるよう対応し、2010年度販売の複写機、複合機およびプリンター、20シリーズの機種群においてオゾン、粉じん、VOC類のリコー基準を達成しました(達成)。

▶ 大気排出による環境リスクの評価・仕組みについて検討を進めました。

▶ 使用量は72.9%削減となりました(達成)。

▶ 排出量は87.9%削減となりました(達成)。

▶ 除却・新設等の更新をするとともに、アスベストについてはリコー内全22サイトはレベル3建材までを含めた詳細調査を実施し、より精度の高い債務金額の推定を行いました(達成)。

▶ リコーグループの資産除去債務の影響額を把握・分析し、財務会計上への反映を行いました(達成)。

▶ 2008年度に構築した情報伝達の仕組みとその運用の改善を実施しました。また、届出(初回納期2011年5月末)を行うための化学物質情報を集計するための仕組みを構築しました(達成)。

▶ リコーグループの対象組織(99組織)全てで、生態系保全活動を実施しました(達成)。